

# 大通東1年



再開発が動く拠点となりそうな大通東

## 国交

### 老朽化進む河川機械更新で

国土交通省は、老朽化が進む河川機械設備の更新の在り方で、排水ポンプのマスパロダクツ化や、樋門の無動力化を推進すべきとする答申の骨子案をまとめた。気候変動への対応や官主導での技術開発にも取り組むよう求めた。30日に開いた社会資本整備審議会河川

機設備小委員会でも取りまとめとして提示した。河川機械設備の更新に当たっては、マスパロダクツ化された製品を導入し、小口分散化によるコストダウン、技術者の確保につなげることを目指すべきとした。特に排水ポンプでは、駆動機

関にマスパロダクツの車西用ディーゼルエンジンを導入した小規模ポンプを複数台設置することを提案。一つのポンプが故障しても、システム全体が機能喪失するようない可能性が小さくなり信頼性が向上するとした。

樋門の無動力化は、比較的小規模な樋門や樋管でフラップゲートなどによる無動力化を推進する。河川ゲート設備全般では、遠隔主操作、集中管理を本格的に導入すべきとした。将来的には操作の自動化(フルオートメーション化)も目指す。操作員の高齢化、担い手不足を考慮した取り組みに位置付ける。

気候変動に対しては、今後予想される平均気温の上昇に対応した治水計画の目標流量に更新時にも対応すべきと明記。例えば、排水ポンプの増設スペースの確保など、気候変動がさらに進んだ場合に必要となる既存施設的能力増強を見越して、手戻りのない設計方法を

河川機械設備は、既設の多くが更新時期を迎えている。排水ポンプは国、都道府県管理を合わせた865施設のうち、設置後40年経過している施設が約3割を占め、10年後に約5割、年後に約8割に達するとされる。ゲート設備は割近くが設置後40年を過ぎ、大更新時代に見えた更新方法・体制構築求められている。

答申の骨子案では、信頼性の確保の自動化・遠隔化・集中管理③能力の維持向上④を柱に取り組みべき具体策を示した。次回合会で最

# 工事212件、平均80.4点

## 道建築局 21年度施行成績評定

道建設部建築局は、2021年度官管関係の施行成績評定結果をまとめた。21年度に完成した工事は前年度より50件少ない212件。全工種の平均点は0.1点上昇して80.4点となった。最高点は外構の93点で、建築は85点だった。委託は50件増の301件が完了し、平均点は前年度と同じく80.3点だった。

新築や改修、解体などの管轄工事を対象に施工管理や工程管理、創意工夫といった評定項目で採点している。

21年度完成工事の内訳は建築が103件、電気49件、機械が53件、外構が7件。項目別の得点は「施工体制」「施工管理」「工程管理」などの9項目が前年度を上回り、「技術者」「品質」などの5項目は下回った。

工種ごとの平均点は建築が0.3点上昇の80.9点で、「施工管理」など9項目が上回った。電気は0.2点減少の79.7点となり、「安全対策」など4項目が上がった。機械は0.3点上がって78.4点となり、上昇

したのは「施工体制」などの6項目にとどまった。7点で、「創意工夫」を外構は0.4点減の91.7点で、「創意工夫」を

体、伊達開来高大规模改造第3期が獲得。84点は道議全庁舎解体1工区(岩田地崎・山崎共同

道建設部建築局2021年度施行成績評定結果 (カッコ内は前年度)

	評定件数	平均点	最高点	最低点	
工事	建築	103(111)	80.9(80.6)	85(84)	77(75)
	電気	49(53)	79.7(79.9)	84(84)	73(72)
	機械	53(84)	78.4(78.1)	84(85)	73(71)
	外構	7(14)	91.7(92.1)	93(94)	90(89)
全体	212(262)	80.4(80.3)	93(94)	73(71)	
委託	建築設計	77(56)	80.3(80.4)	83(83)	78(78)
	設備設計	64(43)	77.7(77)	82(82)	67(70)
	建築監理	69(62)	80.4(80.6)	82(83)	77(78)
	設備監理	52(59)	77.2(76.5)	81(82)	60(67)
	土木設計	9(7)	92.6(92.9)	94(94)	88(88)
	土木監理	11(13)	91.8(92.9)	92(94)	91(92)
	地盤調査	9(7)	87(87.7)	90(90)	85(85)
	測量調査	2(3)	92(92)	92(94)	92(90)
	工損調査	8(1)	82.6(82)	84(82)	82(82)
	全体	301(251)	80.3(80.3)	94(94)	60(67)

委託は建築設計77件、設備設計64件、建築監理69件など計301件が完了。平均点は設備設計、設備監理、工損調査の3業種で前年度から上昇した。最高点は土木設計の94点で5件が獲得。次いで92点も土木設計で2件が獲得している。

### 道内 頭首工94カ所漏水

#### 道 農水省 愛知の事故受

農林水産省は、愛知県豊田市の明治用水頭首工で発生した漏水事故を受けて実施していた国営造成施設の頭首工緊急点検結果をまとめた。道内は1番川頭首工(当別町)で漏水事故が発生。上水、工業用水と農業用水の取水

